

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:平成31年 3月 4日

事業名:光道園 ライトホープセンター

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標、工夫している事など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0	1	4	指定基準に基づきスペース確保しています。1人ひとりの利用者に合わせた支援を行うため、パーテーションを利用するなど工夫していますが、個室などのスペースを検討していきます。
	2	職員の配置数は適切である	1	4	0	国の職員配置指定基準以上の職員数を配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	0	エレベーターの設置、玄関スペースのスロープ。視覚障害者のための点字ブロックを設置しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	0	ミーティングや連絡ノート等を活用し情報の共有をしています。今後も職員間での連携を深め日々の振り返りと期間ごとの振り返りによりPDCAサイクルへの参画を行っていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	0	4	評価表は今後活用する予定です。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0	1	4	今後ホームページで公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	0	4	第三者による外部評価を行い業務改善につなげています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	虐待防止研修やその他スキルアップ研修を行い学び考える機会を設けています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	0	今後更に各関係機関(事業所や学校等)と連携を図り、保護者からの聞き取りにより細かなアセスメントが取れるように努めます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	0	子どもの適応行動の状況を把握するために、アセスメントツールを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2	0	職員全員で意見を出し合い活動プログラムを立案し状況に合わせ随時見直しをしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2	0	個別支援計画に沿って活動プログラムを組み合わせています。また、利用者の状況に応じて、随時活動プログラムの見直し等を行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	3	0	平日、休日、長期休暇、またその日の利用者に合わせて、活動プログラムを組み合わせています。必要な児童には個人スケジュールを作成し一人一人に合わせた支援に努めています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	3	2	0	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	2	0	その日行われる支援内容や役割分担について支援開始前に確認を行っていますが、不十分であるようなので、今後も職員で打ち合わせを行ない、確認を行っていきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	4	0	その日に振り返りを行えない場合には、翌日に行っているがまだ不十分と思われるため、今後情報の共有に力を入れていきます。

17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	2	0	日々記録をとり、支援の検証・改善に繋げています。今後も日々のケース記録を作成し、支援の検証・改善に繋げ、より良い支援を目指します。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	2	0	定期的にモニタリングを行っています。放課後等デイサービス計画の見直しが必要な場合は随時実施していきます。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	2	1	ガイドラインの総則の基本的活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っていますが、まだ不十分な点がありますので、今後も総則に基づいて、日々の支援を行います。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	2	0	保護者をはじめ、児童発達支援管理責任者が参画している。必要に応じて担当者も同席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1	0	特別支援学校との情報の共有は比較的行われているが、普通学校との連携が不十分と思われるため、今後積極的に連携を図っていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	0	5	現在、医療的ケアの専門スタッフの配置はなく、医療的ケアが必要な子どもさんのご利用はありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	1	2	移行支援会議には児童発達支援管理責任者が参画し情報の共有と相互理解に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3	0	保護者の同意のもと事業所から要望があれば提供しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	1	関係機関と連携を深め、会議、研修等に積極的に参加しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	1	4	創立模擬店、夏祭り、地域の事業所主催のイベントに参加し障がいのない子どもと活動していますが、今後更に地域との交流の機会を積極的に設けていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	1	4	児童発達支援管理責任者が参加しています。会議の内容を職員間で共有して行きます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	2	0	連絡ノートや送迎時にご家族と話し共通理解を図っています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	0	5	現在保護者を対象とした勉強会は行えていないので、今後保護者の対応力の向上を図る支援を検討していきます。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	3	0	契約時に運営規定・支援内容・利用者負担等について丁寧に説明を行っています。また、不明点については随時説明を行っています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	0	5	0	連絡ノートや送迎時にお話するようにしていますが不十分なので、今後は必要に応じて相談の時間を確保するなどの方法を検討していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	1	4	保護者会はありませんが年1回の親子交流会を企画しています。今後保護者の方々の交流の場を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	1	0	子どもや家族様からの苦情申し入れに対し、苦情受付機関を設けており契約時保護者に対して説明を行っています。今後も苦情があった場合には迅速かつ適切に対応していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	0	定期的に機関誌を発行し、日頃の児童の活動の様子をお知らせしています。長期休暇については期間中の活動内容等の予定もお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意している	4	1	0	個人情報の取り扱いには今後も十分注意をしていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2	3	0	連絡ノートの活用や送迎の際に情報の共有を図っています。また、一人ひとりの利用者に合わせてコミュニケーションの方法をとっています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1	0	創立模擬店や夏祭りなどの行事には利用者家族初め地域住民を招待している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	1	2	同建物内の障害者支援入所施設と共有の緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定して職員間で共有しています。保護者への周知に関しては不十分と思われるため今後検討していきます。園内で感染症が発生した際には、保護者には電話やお迎え時に周知させていただいています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0	火災・地震・不審者侵入の際の訓練を定期的実施していますが、実施曜日に偏りがある為訓練に参加していない利用者がいます。今後利用者全員が参加出来るよう方法を検討していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	0	法人及び事業所単位で虐待防止に関する研修会を定期的開催し、適切な対応を心がけています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	0	今後必要な方には同意書を交わす事を考えています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	1	契約の際にアレルギーの確認をしています。必要な方は除去食の対応をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	ヒヤリハット・事故報告書・苦情解決等はすべてファイルに綴り事業所内で共有し検討会を実施し、職員で共有し再発防止に取り組んでいます。